

- ◆本報告書の趣旨◆
- 本書は、第 3 次豊中市男女共同参画計画において、令和 6 年度（2024 年度）中に各課・各施設で取り組んだ男女共同参画の推進に関する施策の推進状況・実施状況について、取りまとめたものです。
- ◆第 3 次豊中市男女共同参画計画の位置づけ◆
- 第 3 次豊中市男女共同参画計画は、豊中市男女共同参画推進条例第 9 条に基づく男女共同参画の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための基本的な計画です。
- また、男女共同参画社会基本法第 14 条第 3 項に規定されている「市町村男女共同参画計画」にあたります。
- ◆第 3 次豊中市男女共同参画計画の期間◆
- 令和 4 年度（2022 年度）から令和 13 年度（2031 年度）までの 10 年間です。

4 つ の 基 本 目 標

1 人権尊重と男女共同参画への意識を改革する	
1-1 人権意識の育み	<div>主な実施状況</div> <p>性別に関わりなく誰もが個性と能力を発揮して自分らしく生きることのできる社会を実現するために、豊中市ではさまざまな取り組みを続けています。具体的には、人権月間に合わせて人権啓発パネルの展示を行ったほか、公民館やとよなか男女共同参画推進センターすてっぷ（以下、すてっぷ）でも人権啓発のための講座などを実施しました。</p> <p>すてっぷでは、市内小中学校を対象に「とよなかすてっぷジェンダー平等教育推進助成事業」と「デート DV 出前講座」を実施し、からだと性に関する正しい情報を提供しました。また大学のメディア研究会と連携し、オリジナル動画を元にジェンダーに関するメディア・リテラシー教育向上のためのジェンダー平等教育推進助成事業を昨年度より枠数を増やして実施しました。事業について、紙媒体だけでなく、SNS、YouTube などを活用して周知を図りました。また啓発冊子「STEP by STEP」は「フェミニズム」をテーマに発行しました。</p> <p>人権政策課では、研修のテーマとして、「DV について」や「ハラスメントについて」などをテーマを設定し、人権研修の講師を派遣しました。また、公民分館長や公民館グループリーダーを対象に「防災と男女共同参画」をテーマに研修を行い地域の団体・グループ等に対し情報提供を行いました。</p> <p>性別や性的指向及び性自認に関わりなく多様な選択ができるまちづくりの実現に向け令和 7 年 3 月に「豊中市パートナーシップ宣誓証明制度」を導入しました。</p> <div>課題・今後の方向性</div> <p>性別に関わりなく誰もが個性と能力を発揮して自分らしく生きることのできる社会を実現するためには、固定的な性別役割分担意識、社会慣行等によるさまざまな場面での不平等や、性的マイノリティに対する偏見などを取り除き、一人ひとりが互いの人権を尊重しあうことが大切です。</p> <p>多様な価値観を認め合うために、人権意識を高め理解を深めるための教育・啓発に取り組みます。また、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に対しては、引き続き、講座等を実施していくことで意識改革につなげていくとともに、SNS 等が普及している背景をふまえメディア・リテラシーの向上を図る取り組みを進めてまいります。</p>
1-2 人権としての性の尊重	
1-3 表現における人権の尊重	
1-4 男女共同参画を推進する教育・学習の推進	
1-5 男女共同参画の理解の醸成	
1-6 男女共同参画に関わる情報の収集と発信・提供	
2 あらゆる分野での女性の活躍を推進する	
2-1 政策・方針の立案・決定過程への女性の参画の拡大	<div>主な実施状況</div> <p>審議会への女性委員の参画状況を調査し、公表しました。調査の際には「審議会への女性委員の参画推進要綱」を配布し、目標値を周知しました。女性の登用を促すために、女性委員の割合 40%以上達成のための方法について確認を行いました。今後も所管課へ女性委員の登用を増やすための方策（府女性委員データベースの周知等）について周知し、目標に近づけるため、取り組みを支援し登用を促していきます。</p> <p>すてっぷでは、男性の家事参画や自立を促すため、家庭内での性別役割分担意識や職業選択時のバイアスを見直すための啓発を行いました。</p> <p>豊中市女性の活躍促進支援事業として、事業所に向けて、経営者・管理職、一般社員向けのセミナーを実施しました。また事業者間での交流会を行いました。アドバイザー派遣については、17 事業者に対して行いました。豊中市女性活躍推進事業者としては、13 事業者の認証を行いました。また総合評価一般競争入札の中で、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく、「一般事業主行動計画」の策定または認定を評価するとともに、豊中市女性活躍推進事業者の認証有無を評価することにより、女性の参画拡大への啓発に努めました。</p> <div>課題・今後の方向性</div> <p>女性の活躍を推進するにあたっては、市の各担当課が連携・協力し、企業や事業所に対して、多様な働き方への支援や女性の採用・育成・登用の働きかけを引き続き行っていく必要があります。また、就職や再就職、起業、キャリアアップなど、女性の多様な生き方・働き方へのニーズに寄り添い、就労に向けたスキルアップから就労支援、継続への支援などに取り組んでいきます。</p> <p>市内の各事業所で働く一人ひとりの女性が、個性や能力を十分に発揮し活躍することを促進するため、「豊中市女性活躍推進事業者認証制度」の周知に取り組んでいます。また、男性の意識改革、家庭・地域への参画促進については、今後も取り組みの充実を図るとともに、講座や講演会に男性が参加しやすい工夫を行っていきます。</p>
2-2 多様な働き方への支援	
2-3 ワーク・ライフ・バランスの推進	
3 すべての人がいきいきと安心して暮らせる環境を整備する	
3-1 エンパワメントへの支援	<div>主な実施状況</div> <p>地域における様々な主体による子どもの居場所づくりの充実や、学校を核としたセーフティネットの構築等を実施しました。具体的には、20 か所で子どもの居場所を新規に立ち上げたほか、支援者向け講習会を 3 回開催、市域レベルの円卓会議を 2 回開催、7 エリアで支援者や関係機関の交流会を各 1 回それぞれ開催するとともに、6 小学校区で居場所等のマップ作成や、人材バンクを通じた 15 団体への人材派遣、ポータルサイトの運営などを行いました。子育てスキルを学ぶ場として「トリプル P グループ」を年 1 回(7 回シリーズ)、トリプル P セミナーを年 1 回（3 回シリーズ）で実施しました。保護者同士が、子育ての悩みや問題を共有し、問題解決や自身の振り返りの機会をもてるよう努めました。</p> <p>すてっぷでは、社外ネットワークを豊富に持ち、メンターとしても活躍する女性の管理職を講師に「スキルアップサポート研修 メンタリング講座」の実施や女性のキャリアアップのため「女性のための知識ゼロからのスキルアップ！簿記 3 級対策講座」を実施しました。</p> <p>女性への支援を拡充するため「豊中市女性総合相談支援窓口」をすてっぷ内に開設しました。さまざまな悩みを抱える女性から電話・メールで相談を受け付け、面談(予約制)や伴走型支援を実施し必要な支援へつなげることができました。</p> <div>課題・今後の方向性</div> <p>生活上の困難に直面する女性などをはじめ、高齢者や障害者、外国人、性的マイノリティ等、支援が必要な人・生きづらさを抱える人などが地域で安心して暮らすことができるよう、多様な支援や各種制度・サービスの充実、環境の整備に取り組めます。また引き続き、困難を抱える人を対象とする各種相談窓口のさらなる連携を進め、支援の充実を図っていきます。</p>
3-2 さまざまな困難を抱える人々への支援	
3-3 生涯を通じた健康支援	
3-4 防災・災害対応時における男女共同参画の推進	
4 あらゆる暴力を根絶する	
4-1 DV を許さない社会づくり	<div>主な実施状況</div> <p>あらゆる暴力の根絶に向けて、「女性に対する暴力をなくす運動」期間（11 月）に豊中パープルリボンプロジェクトを実施し、令和 7 年 4 月の児童相談所開設に向け、DV と児童虐待防止の一体的な啓発活動として、DV・児童虐待防止キャンペーンを行いました。</p> <p>すてっぷにおいては、すてっぷオリジナルプログラムによる「デートDV 防止出前講座」や市立学校を対象とした「すてっぷジェンダー平等教育推進助成事業」を実施しました。また被害者の体験をもとにした性暴力の実態や、正しい知識を伝えるため、暴力の根絶に向けた講演会を実施しました。</p> <p>緊急時における安全の確保として、DV 相談専属の相談員を配置し、緊急避難の相談をはじめ、関係課や関係機関との連携や同行支援、被害者の自立に向けて適切な助言を行いました。</p> <p>こども総合相談窓口・こども専用フリーダイヤルにおいて 365 日 24 時間、18 歳になるまでの子どもと家庭にかかわる様々な相談を受け、問題解決に向けて一緒に考えました。また専門の相談窓口を紹介しました。</p> <div>課題・今後の方向性</div> <p>一人ひとりが暴力に対する認識を持ち、暴力を許さない意識を持つための意識づくり、被害者を迅速に適切な支援へと結びつけるための相談支援体制の充実、関係機関や民間団体等の連携強化などの取り組みを進めていきます。周知啓発にあたっては、児童虐待や交際相手からの暴力であるデート DV の問題をふまえ、若年層への周知・啓発を行い、防止に向けて取り組んでまいります。</p>
4-2 相談体制の充実	
4-3 DV 被害者の保護および自立支援	
4-4 関係機関等との連携・協力	
4-5 あらゆる性暴力への対策の推進	